

#### 4 木造住宅耐震診断結果報告書様式

(様式1)

【申込者用・市町用・受託団体用・診断員用】

市町名 - 受付番号： ○○ 市町 - ○○○号

市町受付年月日 平成 年 月 日

### 木造住宅耐震診断結果報告書

診断申込者 様  
 (診断申込者へ)  
報告年月日 平成 年 月 日  
 (評価機関へ)  
報告年月日 平成 年 月 日  
調査年月日 平成 年 月 日

建築士事務所名称	
建築士事務所種別	一級建築士事務所 二級建築士事務所 木造建築士事務所
建築士事務所登録年月日番号	平成 年 月 日 第 号
耐震診断事務所登録年月日番号	平成 年 月 日 第 号
耐震診断技術者氏名	印
耐震診断技術者名簿登録年月日	平成 年 月 日 第 号

審査欄	
-----	--

(様式2)

総合評価		市町名	受付番号
(a) 地盤・基礎			
地盤	対 策	記入欄( 印)	注意事項
よい			
普通			
悪い (埋立地、盛り土、軟弱地盤)	表層の地盤改良を行っている		
	杭基礎である		
	特別な対策を行っていない		
地形	対 策	記入欄( 印)	注意事項
がけ地 急斜面	平坦 ・ 普通		
	コンクリート擁壁		
	石積		
	特別な対策を行っていない		
基礎形式	状態	記入欄( 印)	注意事項
鉄筋コンクリート基礎	健全		
	ひび割れが生じている		
無筋コンクリート基礎	健全		
	ひび割れが生じている		
玉石基礎	足固めあり		
	足固めなし		
その他(ブロック基礎等)			
(b) 上部構造			
階	方 向	上部構造 評点	判 定
2F	X		
	Y		
1F	X		
	Y		
上部構造評点		判 定	
1.5以上		倒壊しない	
1.0以上～1.5未満		一応倒壊しない	
0.7以上～1.0未満		倒壊する可能性がある	
0.7未満		倒壊する可能性が高い	

(様式3)

建物概要調査表 A	市町名	受付番号
-----------	-----	------

調査年月日	平成	年	月	日	年							
申込者氏名					用途	<input type="radio"/>	専用住宅					
申込者住所						<input type="radio"/>	併用住宅					
郵便番号						<input type="radio"/>	その他					
電話												
所有区分	<input type="radio"/>	持家	<input type="radio"/>	借家	柱半間スパン・柱小径							
建物名称					半間スパン		cm					
建物所在地					柱小径		cm					
竣工年	<input type="radio"/>	明治	<input type="radio"/>	大正	<input type="radio"/>	昭和	<input type="radio"/>	平成	年	屋根材料	<input type="checkbox"/>	瓦葺き(重い屋根)
築年数	年		年		<input type="checkbox"/>	スレート瓦(重い屋根)						
階数	地下	階	地上	階	<input type="checkbox"/>	鉄板葺き(軽い)						
構造	<input type="checkbox"/> 木造在来軸組工法				<input type="checkbox"/>	シングル葺き(軽い)						
	<input type="checkbox"/> 一部RC、ブロック造(浴室のみ)				外壁材料	<input type="checkbox"/>	角波鉄板					
	<input type="checkbox"/> 地下室と見なされる車庫を有す					<input type="checkbox"/>	板張り、合板張り					
	<input type="checkbox"/> 平面的、断面的に異種構造部分を有するが、木造部分で独立している。					<input type="checkbox"/>	ラスモルタル					
						<input type="checkbox"/>	窯業系サイディング					
構造的特記事項					<input type="checkbox"/>	金属サイディング						
					<input type="checkbox"/>	土塗壁						
					樋の種類	<input type="checkbox"/>	塩ビ					
						<input type="checkbox"/>	鉄板					
				露出した躯体	<input type="checkbox"/>	梁						
					<input type="checkbox"/>	柱						
					<input type="checkbox"/>	土台						

異種構造部分は、本診断対象外であり、木造部分のみ検討します。

	面積(m <sup>2</sup> )	1階短辺方向スパン			
小屋裏利用	<input type="radio"/> 有り	2階床面積	m <sup>2</sup>	スパン	m
	<input type="radio"/> 無し	1階床面積	m <sup>2</sup>	<input type="radio"/>	6m以上
		地階床面積	m <sup>2</sup>	<input type="radio"/>	4m以上6m未満
		延べ床面積	m <sup>2</sup>	<input type="radio"/>	4m未満

増築・改造等工事	工事種別	工事の有無				施工年	工事内容
		<input type="radio"/>	有	<input type="radio"/>	無		
		<input type="radio"/>	有	<input type="radio"/>	無		
		<input type="radio"/>	有	<input type="radio"/>	無		
		<input type="radio"/>	有	<input type="radio"/>	無		
	特記事項						
災害履歴	<input type="checkbox"/>	床下浸水、床上浸水			住宅金融公庫融資有無	<input type="radio"/>	1 金融公庫融資有り
	<input type="checkbox"/>	火災、ボヤ				<input type="radio"/>	2 金融公庫融資無し
設計図書の有無	<input type="radio"/>	1 図面があり、筋かい・接合金物の配置記入有り(平面図内に記入有り)					
	<input type="radio"/>	2 図面はあるが、筋かい・接合金物の配置記入無し(立面のみ記入含む)					
	<input type="radio"/>	3 図面はない					
整備図面	<input type="checkbox"/> 平面図 <input type="checkbox"/> 立面図 <input type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/> 梁伏図 <input type="checkbox"/> 基礎伏図 <input type="checkbox"/> 軸組図						

建物概要調査表 B	市町名	受付番号
-----------	-----	------

目視調査可能部分において記入する

部位等		調査内容	調査実施・不可		
主要な軸組等 構造耐力上 重要な軸組等	損・接合金物 部材の断面欠	大きな欠き込み、割れの有無	<input type="radio"/> 欠き込み有	<input type="radio"/> 割れ有	
			<input type="radio"/> 欠き込み無	<input type="radio"/> 割れ無	
			<input type="radio"/> 調査不可	<input type="radio"/> 調査不可	
		柱頭・柱脚接合部の仕様	<input type="radio"/> 金物有	<input type="radio"/> H12建告第1460号に適合する仕様	<input type="radio"/> 羽子板ボルト、山形プレートVP、かど金物CP-T、CP-L、込み栓
				<input type="radio"/> ほぞ差し、釘打ち、かすがい等（構面の両端が通し柱の場合）	<input type="radio"/> ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
				<input type="radio"/> 金物無	
				<input type="radio"/> 調査不可	
床下部分	足固め、根がらみ等で固められているか	<input type="radio"/> 足固め有	布基礎、土台のない形式の場合に調査		
筋かい端部		<input type="radio"/> 足固め無			
		<input type="radio"/> 調査不可			
	筋かい端部の金物の有無	<input type="radio"/> 金物あり	H12建告第1460号に適合する仕様の金物のある場合は「金物あり」にチェック		
<input type="radio"/> 金物なし					
<input type="radio"/> 調査不可					
水平剛性の確保	床面・小屋面 接合方法	床仕様区分（火打ちの有無、床板は合板か、金物は充分使用されているか）	<input type="radio"/> 火打ち有り	<input type="radio"/> 金物有	
			<input type="radio"/> 火打ち無し	<input type="radio"/> 金物無	
			<input type="radio"/> 調査不可		
			<input type="radio"/> 合板有り		
			<input type="radio"/> 合板無し		
			<input type="radio"/> 調査不可		
	け吹部き分抜	吹き抜け面積、吹き抜け部分の対策、補強の有無	<input type="radio"/> 吹き抜け有	縦 <input type="text"/> m	
<input type="radio"/> 吹き抜け無			横 <input type="text"/> m		
下屋、増築部	母屋との接合部分で金物が充分使用されているか	<input type="radio"/> 金物有			
		<input type="radio"/> 金物無			
		<input type="radio"/> 調査不可			
ブロック塀	1.2mを超えるブロック塀の有無	<input type="radio"/> 1.2mを超えるブロック塀無し			
		<input type="radio"/> 1.2mを超えるブロック塀に控え壁有り			
		<input type="radio"/> 1.2mを超えるブロック塀に控え壁無し			
擁壁・がけの状況	傾斜、亀裂、ハラミの有無	<input type="checkbox"/> 擁壁無し	<input type="checkbox"/> がけ無し		
		<input type="checkbox"/> 擁壁傾斜有	<input type="checkbox"/> がけ壁傾斜有		
		<input type="checkbox"/> 擁壁亀裂有	<input type="checkbox"/> がけ壁亀裂有		
		<input type="checkbox"/> 擁壁ハラミ有	<input type="checkbox"/> がけ壁ハラミ有		
備考					

## 聞き取り調査チェックリスト

筋かい有無	<input type="radio"/> 1 筋かいは入っていた	土塗り壁の有無	<input type="radio"/> 1 土塗り壁有り
	<input type="radio"/> 2 筋かいは入っていない		<input type="radio"/> 2 土塗り壁無し
	<input type="radio"/> 3 筋かいは不明		<input type="radio"/> 3 土塗り壁は不明
	筋かいのサイズ <input type="text"/> cm x <input type="text"/> cm		壁の厚さ <input type="text"/> cm
基礎形式	<input type="radio"/> 1 基礎は鉄筋コンクリート布基礎	鉄筋の有無が不明な場合は無筋コンクリート布基礎として扱う。	
	<input type="radio"/> 2 基礎は無筋コンクリート布基礎		
	<input type="radio"/> 3 基礎は玉石、石積み、ブロック積み		
	<input type="radio"/> 4 基礎形式は不明		
白蟻	<input type="radio"/> 1 白蟻被害は無い。		
	<input type="radio"/> 2 白蟻被害を受けたが、駆除し、被害部分の補強を行った。		
	<input type="radio"/> 3 白蟻被害を受けたが、駆除のみ行った。		
	<input type="radio"/> 4 白蟻被害を受けている。		
	<input type="radio"/> 5 白蟻については記憶がない。		
地盤の状況	<input type="radio"/> 1 大規模な造成工事（転圧・地盤改良）による埋立地及び盛土地		
	<input type="radio"/> 2 丘陵地の盛土地		
	<input type="radio"/> 3 海・川・池・沼・水田等の埋立地		
	<input type="radio"/> 4 地盤の状況は不明である。		
地形の状況	<input type="radio"/> 1 過去に山崩れ・がけ崩れ等があった（隣地含む）		
	<input type="radio"/> 2 地すべりがあった		
	<input type="radio"/> 3 地盤が沈下した		
その他事項	<input type="checkbox"/> 大型車通行時に揺れが大きい		
	<input type="checkbox"/> 床が傾いている場所がある。		
	<input type="checkbox"/> 歩くと床が揺れる場所がある。		
	<input type="checkbox"/> 建具の建て付けが悪くなっている場所がある。		
	<input type="checkbox"/> 雨漏りしている場所がある。		
	<input type="checkbox"/> 柱、梁で腐っている場所がある。		
	<input type="checkbox"/> その他気になる場所がある。		

## 地盤・地形状況の特定

聞き取り調査、付近の地盤図を参考にして診断技術者が判断す。

地盤	良い	<input type="radio"/> 1 洪積台地または同等以上の地盤
		<input type="radio"/> 2 設計仕様書のある地盤改良（ラップル、表面改良、液状改良）
		<input type="radio"/> 3 下記以外の地盤
	普通	<input type="radio"/> 4 30mよりも浅い沖積層
		<input type="radio"/> 5 埋立地及び盛土地で大規模な造成工事（転圧・地盤改良）によるもの
	悪い	<input type="radio"/> 6 30mより深い沖積層（軟弱層）
		<input type="radio"/> 7 海・川・池・沼・水田等の埋立地 丘陵地の盛土地で小規模な造成工事によるもの
		<input type="radio"/> 8 液状化の可能性のあるところ
地形	平坦普通	<input type="radio"/> 1 がけ地・急傾斜地以外の地盤
		<input type="radio"/> 2 コンクリート擁壁が施されている。
	がけ地急斜面	<input type="radio"/> 3 石積みが施されている。
		<input type="radio"/> 4 特別な対策を行っていない。

## 伝統構法住宅チェックリスト

<input type="checkbox"/>	戦前に建てられた住宅で、各部屋との間仕切りが襖など建具で仕切られたいわゆる「田の字」平面をなし、(地震に耐える)壁が少なく、太い柱や太い梁及び垂れ壁で開放的な空間を形成しているもの。		
<input type="checkbox"/>	柱は14cm以上である	柱寸法	cm

## 老朽度のチェックリスト

### (1) 外部

部位	材料、部材等	存在部位	劣化事象						
屋根葺き材	金属板	<input type="checkbox"/>	変退色	さび	さび穴	ずれ	めくれ		
	瓦・スレート	<input type="checkbox"/>	割れ	欠け	ずれ	欠落			
樋	軒・呼び樋	<input type="checkbox"/>	変退色	さび	割れ	ずれ	欠落		
	縦樋	<input type="checkbox"/>	変退色	さび	割れ	ずれ	欠落		
外壁仕上げ	木製板、合板	<input type="checkbox"/>	水浸み痕	こけ	割れ	抜け節	ずれ	腐朽	
	窯業系サイディング	<input type="checkbox"/>	こけ	割れ	ずれ	欠落	シール切れ		
	金属サイディング	<input type="checkbox"/>	変退色	さび	さび穴	ずれ	めくれ	目地空き	シール切れ
	モルタル	<input type="checkbox"/>	こけ	0.3mm以上の亀裂		剥落			
露出した躯体		<input type="checkbox"/>	水浸み痕	こけ	腐朽	蟻道	蟻害		
上記のほか、老朽していると思われる部位及び劣化事象									

### (2) バルコニー

部位	材料、部材等	存在部位	劣化事象						
手すり壁	木製板、合板	<input type="checkbox"/>	水浸み痕	こけ	割れ	抜け節	ずれ	腐朽	
	窯業系サイディング	<input type="checkbox"/>	こけ	割れ	ずれ	欠落	シール切れ		
	金属サイディング	<input type="checkbox"/>	変退色	さび	さび穴	ずれ	めくれ	目地空き	シール切れ
	外壁との接合部	<input type="checkbox"/>	外壁面との接合部に亀裂			隙間	緩み	シール切れ・剥離	
床排水		<input type="checkbox"/>	壁面を伝って流れている			排水の仕組みが無い			
上記のほか、老朽していると思われる部位及び劣化事象									

### (3) 内部

部位	材料、部材等	存在部位	劣化事象						
内壁	一般室 内壁、窓下	<input type="checkbox"/>	水浸み痕	はがれ	亀裂	カビ			
	浴室	タイル壁	<input type="checkbox"/>	目地の亀裂		タイルの割れ			
		タイル以外	<input type="checkbox"/>	水浸み痕	変色	亀裂	カビ	腐朽	蟻害
床	床面	一般室	<input type="checkbox"/>	傾斜	過度の振動		床鳴り		
		廊下	<input type="checkbox"/>	傾斜	過度の振動		床鳴り		
	床下	基礎	<input type="checkbox"/>	亀裂					
		床下部材	<input type="checkbox"/>	腐朽	蟻道	蟻害			
上記のほか、老朽していると思われる部位及び劣化事象									

(様式7)

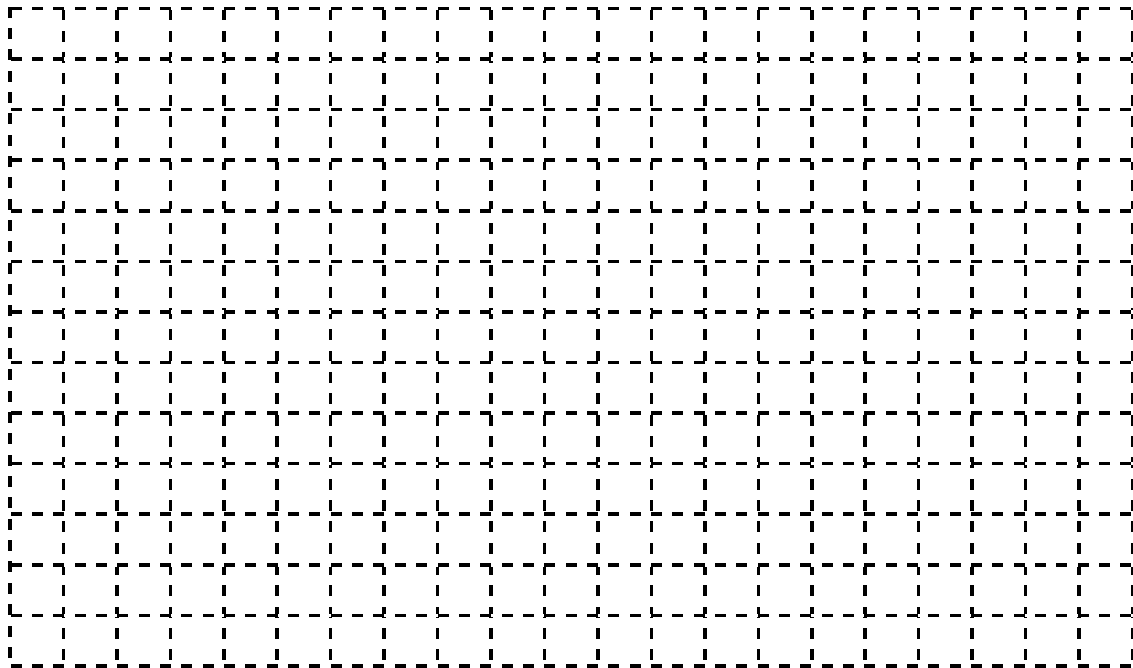
---

## 平面図

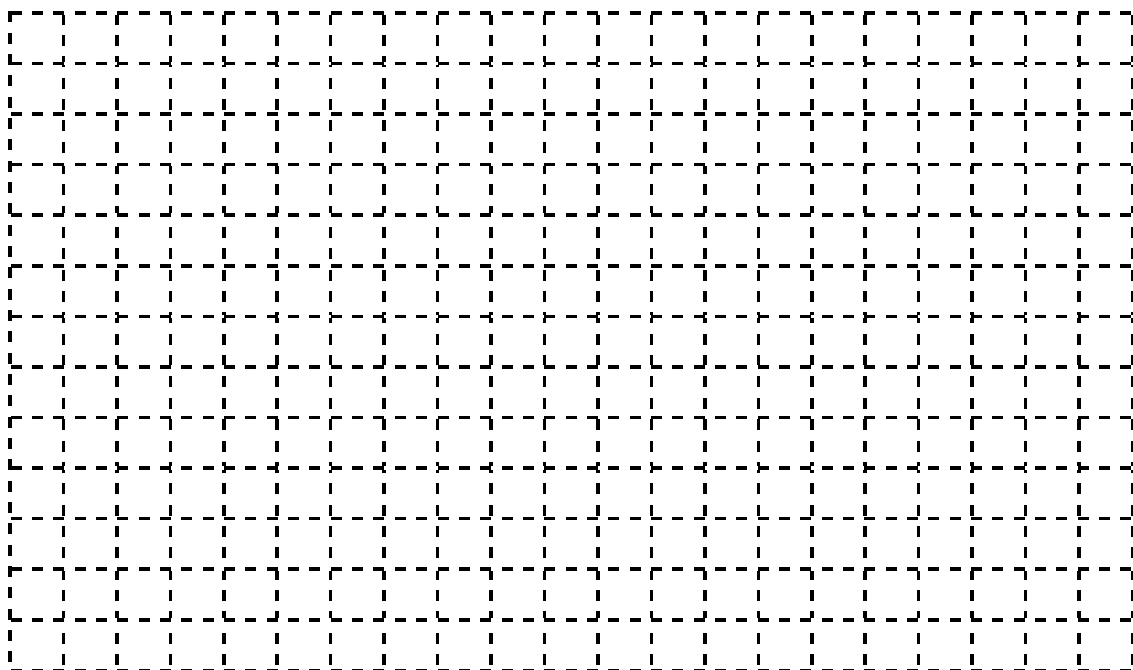
---

壁の位置・仕様を平面図に記入します。また、壁の両端の柱の柱頭・柱脚の接合の仕様も記入します。  
上階が部分的にしかない場合は、わかるように上階の位置を斜線で示します。  
平面図中には、X方向・Y方向の全長の1/4に線を引きます。

柱頭・柱脚の仕様:



平面図(1階)



平面図(2階)

(様式8)

## 建物概要

整理番号	市町名:	受付年度:	年度	受付番号:
建物名称 (建築主名)				
所在地(住所)				
竣工年月日				
建物仕様				
地域係数 Z				
軟弱地盤割増				
形状割増係数				
積雪深さ	(m)			
積雪	Z			
基礎形式				
床仕様				

### 必要耐力の算出

	床面積 ( $m^2$ )	床面積あたり 必要耐力 ( $kN/m^2$ )	積雪用 必要耐力 ( $kN/m^2$ )	地域係数 Z	軟弱地盤 割増係数	形状 割増係数	必要耐力 $Q_r$ ( $kN$ )
3階	/	/	/				
2階	$\times$ (	+ ) $\times$		0.9	$\times$	$\times$	=
1階							

### 耐力要素の配置等による低減係数用必要耐力

(梁間a)

	床面積 梁a ( $m^2$ )	床面積あたり 必要耐力 ( $kN/m^2$ )	積雪用 必要耐力 ( $kN/m^2$ )	地域係数 Z	軟弱地盤 割増係数	形状 割増係数	必要耐力 $Q_r$ ( $kN$ )
3階	/	/	/				
2階	$\times$ (	+ ) $\times$		0.9	$\times$	$\times$	=
1階							

(梁間b)

	床面積 梁b ( $m^2$ )	床面積あたり 必要耐力 ( $kN/m^2$ )	積雪用 必要耐力 ( $kN/m^2$ )	地域係数 Z	軟弱地盤 割増係数	形状 割増係数	必要耐力 $Q_r$ ( $kN$ )
3階	/	/	/				
2階	$\times$ (	+ ) $\times$		0.9	$\times$	$\times$	=
1階							

(桁行a)

	床面積 桁行a ( $m^2$ )	床面積あたり 必要耐力 ( $kN/m^2$ )	積雪用 必要耐力 ( $kN/m^2$ )	地域係数 Z	軟弱地盤 割増係数	形状 割増係数	必要耐力 $Q_r$ ( $kN$ )
3階	/	/	/				
2階	$\times$ (	+ ) $\times$		0.9	$\times$	$\times$	=
1階							

(桁行b)

	床面積 桁行b ( $m^2$ )	床面積あたり 必要耐力 ( $kN/m^2$ )	積雪用 必要耐力 ( $kN/m^2$ )	地域係数 Z	軟弱地盤 割増係数	形状 割増係数	必要耐力 $Q_r$ ( $kN$ )
3階	/	/	/				
2階	$\times$ (	+ ) $\times$		0.9	$\times$	$\times$	=
1階							

(参考) 軟弱地盤: 昭和55年建設省告示第1793号第2の表中Tcに関する表に掲げる第三種地盤





耐力要素の配置等による低減係数 E

床仕様			必要耐力 Qr	保有耐力 P=Pw+Pe	充足率 (P / Qr)	配置による 低減係数 E
3F	X方向	桁行a				
		桁行b				
	Y方向	梁間a				
		梁間b				
2F	X方向	桁行a				
		桁行b				
	Y方向	梁間a				
		梁間b				
1F	X方向	桁行a				
		桁行b				
	Y方向	梁間a				
		梁間b				

劣化度による低減係数 D

部位	材料・部材等	劣化事象	存在点数		劣化 点数	
			築10年 未満	築10年 以上		
屋根葺き材	金属板	変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれがある				
	瓦・スレート	割れ、欠け、ずれ、欠落がある	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 2	
樋	軒・呼び樋	変退色、さび、割れ、ずれ、欠落がある	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 2	
	縦樋	変退色、さび、割れ、ずれ、欠落がある	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 2	
外壁仕上げ	木製板・合板	水浸み痕、こけ、割れ、抜け筋、ずれ、腐朽がある				
	窯業系サイディング	こけ、割れ、ずれ、欠落、シール切れがある				
	金属サイディング	変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれ、目地空き、シール切れがある	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 4	
	モルタル	こけ、0.3mm以上の亀裂、剥落がある				
露出した躯体		水浸み痕、こけ、腐朽、蟻道、蟻害がある	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 2	
バルコニー	手すり壁	木製板・合板	水浸み痕、こけ、割れ、抜け筋、ずれ、腐朽がある			
		窯業系サイディング	こけ、割れ、ずれ、欠落、シール切れがある		<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 1
		金属サイディング	変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれ、目地空き、シール切れ・剥離がある			
	外壁との接合部	外壁面との接合部に亀裂、隙間、緩み、シール切れ・剥離がある		<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 1	
床排水		壁面を伝って流れている、または排水の仕組みが無い		<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 1	
内壁	一般室	内壁・窓下	水浸み痕、はがれ、亀裂、カビがある	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 2
	浴室	タイル壁	目地の亀裂、タイルの割れがある			
		タイル以外	水浸み痕、変色、亀裂、カビ、腐朽、蟻害がある	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 2
床	床面	一般室	傾斜、過度の振動、床鳴りがある	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 2
		廊下	傾斜、過度の振動、床鳴りがある		<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 1
	床下		基礎の亀裂や床下部材に腐朽、蟻道、蟻害がある	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 2
合計			0	0	0	

劣化度による低減係数 D

1 - (劣化点数 / 存在点数) =

(様式12)

上部構造評点算定表

階	方向	強さ P (kN)	配置 E	劣化度 D	保有する 耐力 Pd (kN)	必要耐力 Qr (kN)	上部構造 評点
3F	X						
	Y						
2F	X						
	Y						
1F	X						
	Y						

---

現場写真

---

写真



写真



(住宅の全景、特徴的な部分等、2枚程度)

## 注意事項

この診断は大規模な地震に対して木造住宅がどの程度の安全性があるかを判定するものです。「倒壊する可能性がある」、「倒壊する可能性が高い」と判定された場合は補強改修等の対策を講じる必要があります。

また、「倒壊しない」、「一応倒壊しない」と判定された場合は、住宅に被害がないということではなく、建物に損傷を受けることはあっても、倒壊して人命が失われるほどの被害は受けないという意味です。

また、この診断は住宅の工事が良好に行われ、かつ、適切に維持管理されていて部分的な欠陥がないことを前提としていますので、総合判定が高くても部分的な欠陥がある場合はその補修等の検討が必要となります。

この診断は国土交通省による「木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法又は精密診断法に基づくもので、充分信頼できるものですが、あくまで安全性を判断する目安であり、倒壊しないことを保証するものではありません。

なお、一般診断法に基づく調査の結果、耐震補強の必要性が高いと判断される建築物については、より詳細な調査に基づき補強の必要性の最終的な判断を行うことができる精密診断法による調査をすることをお勧めします。

また、図面などの資料が無く、建物の状況が十分に把握できない場合は、推計に基づき診断を行いますので、診断結果は幅を持ってとらえてください。

また、特定の地震に対する判定ではありませんので、震源地からの距離など、地震により影響は異なります。

この診断は、あくまで、建物自体を対象としたものでありますが、兵庫県南部地震でも建物は無事でありながら家具の転倒などによる犠牲者も多数でしたので、建物の耐震化と同時に、家具の転倒防止などについてもぜひ行ってください。